

7月の政治・経済イベント

重要 01 各国の景気回復の足取り

新型コロナウイルスの感染拡大に対して取られた経済活動を制限する措置が緩和されてきたことにより、各国の景気は回復に向かいつつあります。ただ、緩和度合いや景気回復テンポには国、地域によって違いがあるようですし、一国の中でも、回復が速い分野と遅れている分野の差も大きいようです。それを見極める上で、米国の雇用統計、中国や米国の鉱工業生産、小売売上などの動向が注目されます。

重要 02 感染再拡大の懸念

経済活動が再開されることで人同士の接触が増え、感染が再拡大するのではないかと懸念の声もあります。米国ではこれまで感染拡大の中心となっていたニューヨーク州など北東部に代わって中西部、南部などでの感染が拡大しています。今後さらに感染拡大が加速すれば、経済活動制限を再び強化すべきかどうかを巡って各地域で意見が割れ、先行きに対する不透明感が強まる可能性があります。

重要 03 トランプ米大統領の再選戦略

新型コロナウイルス感染拡大や、警察官による黒人男性暴行死に端を発した人種差別問題への対応に対する批判などから、トランプ大統領の支持率が低下しています。このままで行けば、11月3日の大統領選で民主党のバイデン候補に敗れる可能性が高まっています。これに対し、トランプ大統領が国内政策や外交において、どのような巻き返しを図るかが注目されます。国内の人気取りのために外交で強硬な政策を打ち出すと、国際的な混乱を招く可能性もあります。

7月の主な政治・経済イベント

	国・地域	予定
1日(水)	日本 	6月調査日銀短観（全国企業短期経済観測調査）
2日(木)	米国 	雇用統計（6月）
15日(水)	日本 	金融政策発表、日銀展望レポート（経済・物価情勢の展望）公表
15日(水)	米国 	鉱工業生産指数（6月）
16日(木)	中国 	鉱工業生産指数、小売売上高、固定資産投資（6月）、4-6月期GDP
16日(木)	ユーロ圏 	金融政策発表
16日(木)	米国 	小売売上高（6月）
29日(水)	米国 	金融政策発表
30日(木)	米国 	4-6月期GDP（速報値）
31日(金)	ユーロ圏 	4-6月期GDP（速報値）

上記は、すべて現地時間で作成しており、作成時点で利用可能な最新の情報を用いておりますが、発表日は変更される可能性があります。
 (出所) Bloombergデータ等より野村アセットマネジメント作成

当資料は、投資環境に関する参考情報の提供を目的として野村アセットマネジメントが作成したご参考資料です。投資勧誘を目的とした資料ではありません。当資料は市場全般の推奨や証券市場等の動向の上昇または下落を示唆するものではありません。当資料は信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。当資料に示された意見等は、当資料作成日現在の当社の見解であり、事前の連絡なしに変更される事があります。なお、当資料中のいかなる内容も将来の投資収益を示唆ないし保証するものではありません。投資に関する決定は、お客様ご自身でご判断なさるようお願いいたします。投資信託のお申込みにあたっては、販売会社よりお渡します投資信託説明書（交付目録見書）の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。